

新型コロナウイルス感染症対策に関する指導案事例集（幼稚園編）

# 新型コロナウイルス感染症の予防

～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～



令和3年6月  
広島市教育委員会

【本市における新型コロナウイルス感染症に関する教育】

自己免疫の向上、感染に対する抵抗力（防衛体力）の向上

感染症に関する保健教育

体育科、保健体育科における指導  
【主として感染症が扱われる単元】

小学校 体育科 保健領域	中学校 保健体育科 (保健分野)	高等学校 保健体育科 「科目保健」
〈第3学年〉 健康な生活	〈第3学年〉 健康な生活と 疾病の予防	〈入学年次〉 現代社会と健康
〈第6学年〉 病気の予防	(オ) 感染症の予防	(イ) 健康の 保持増進と疾 病の予防

教科横断

(幼) 領域「健康」、(小・中・高) 特別活動に  
おける指導【学級活動・ホームルーム活動】

- (幼) 心身の健康に関する領域「健康」
- (小) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (中) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (高) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

感染症に関する人権教育

コロナ感染症に関わる いじめや風評被害を防ぐための指導

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、改めて児童生徒等が感染症に対する知識・理解を深め、新型コロナウイルス感染症の予防を図るために、発達段階を踏まえた指導の充実がより一層求められています。

このことを受け、広島市教育委員会では、「自己免疫力の向上、感染に対する抵抗力（防衛体力）の向上」を目指し、「感染症に関する教育」の充実を図るための指導案事例集を作成しました。

指導案の作成にあたっては、令和2年4月文部科学省作成の「新型コロナウイルス感染症の予防～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」を参考とし、新型コロナウイルス感染症の感染の仕方の理解と、その理解に基づく行動に関わることや、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見等について考えることができるものとししました。

幼稚園では健康領域、小・中・高等学校及び中等教育学校では特別活動において、発達段階を踏まえた指導を工夫されますようお願いいたします。また、小・中・高等学校及び中等教育学校においては、体育科・保健体育科との教科等横断的な学習の充実を図りながら、より実践的な学びとなるよう期待しています。

最後に、本事例集の作成にあたり、御多用中にもかかわらず協力していただいた多くの関係者の皆様方に対し、心から感謝の意を表します。

令和3年6月

広島市教育委員会  
指導第一課  
指導第二課  
特別支援教育課  
健康教育課  
教育センター

新型コロナウイルス感染症対策に関する学習

	感染症に関する教育		
	体育科及び保健体育科	【幼】領域「健康」 【小・中・高】特別活動 (学級活動、ホームルーム活動)	感染症に関する 人権教育
幼児	<p style="text-align: center;"><b>新型コロナウイルス感染症対策</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>正しい知識</b></p> <p>新型コロナウイルスの大きさや形、感染経路、症状、飛沫感染の距離など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>実践力</b></p> <p>正しい手の洗い方、正しいマスクの着用の仕方 3密の回避 など</p> </div> </div>		<p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症に関わるいじめや風評被害を防ぐための指導</p>
小1	<b>全 て の 学 年 で 繰 り 返 し 指 導</b>	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (例:手洗い)	<b>全 て の 学 年 で 繰 り 返 し 指 導</b>
小2			
小3	【健康な生活】 運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活と体の清潔	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、周りの人のことも考え、行動する) (例:マスク着用)	
小4	【体の発育・発達】 体をよりよく発育・発達させるための生活		
小5	【心の発達及び不安や悩みへの対処】 不安や悩みへの対処	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、周りの人のことも考え、行動する) (例:生活全般)	
小6	【病気の予防】 ・病気の起こり方 ・病原体が体に入るのを防ぐこと ・生活習慣病		
中・高	【健康な生活と疾病の予防】 ・適切な運動、食事、休養 ・感染症の予防 【現代社会と健康】 ・健康の保持増進と疾病の予防	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、社会全体のことを考え、行動する)(例:生活全般)	

# 目 次

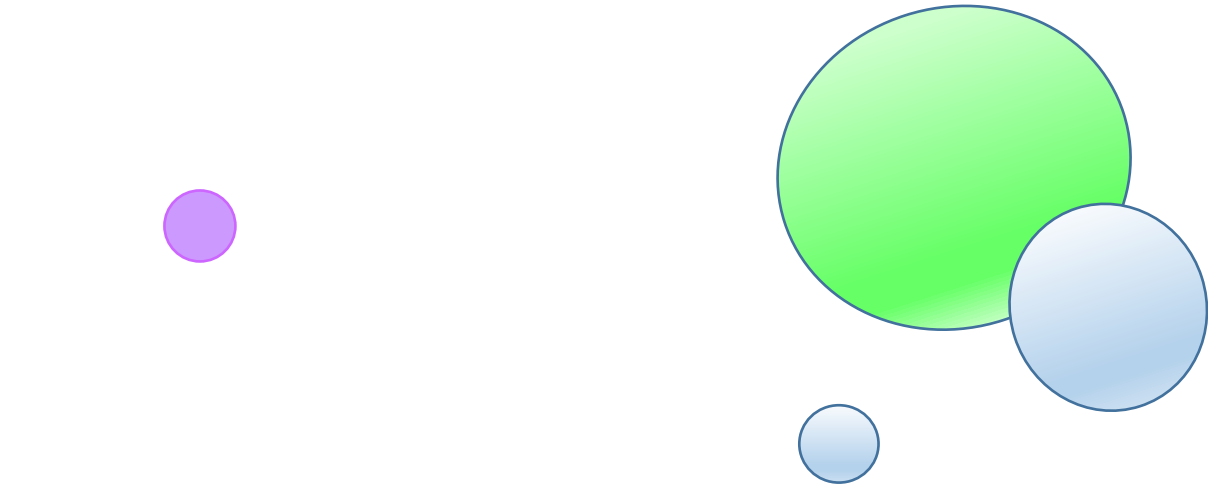
## 1 幼稚園向け保育指導案

(1) 指導案	.....	1
① 知識編	.....	2
② 手洗い・マスク編	.....	3
③ 遊び（ソーシャルディスタンス）編	.....	4～5
(2) 資料	.....	6～10

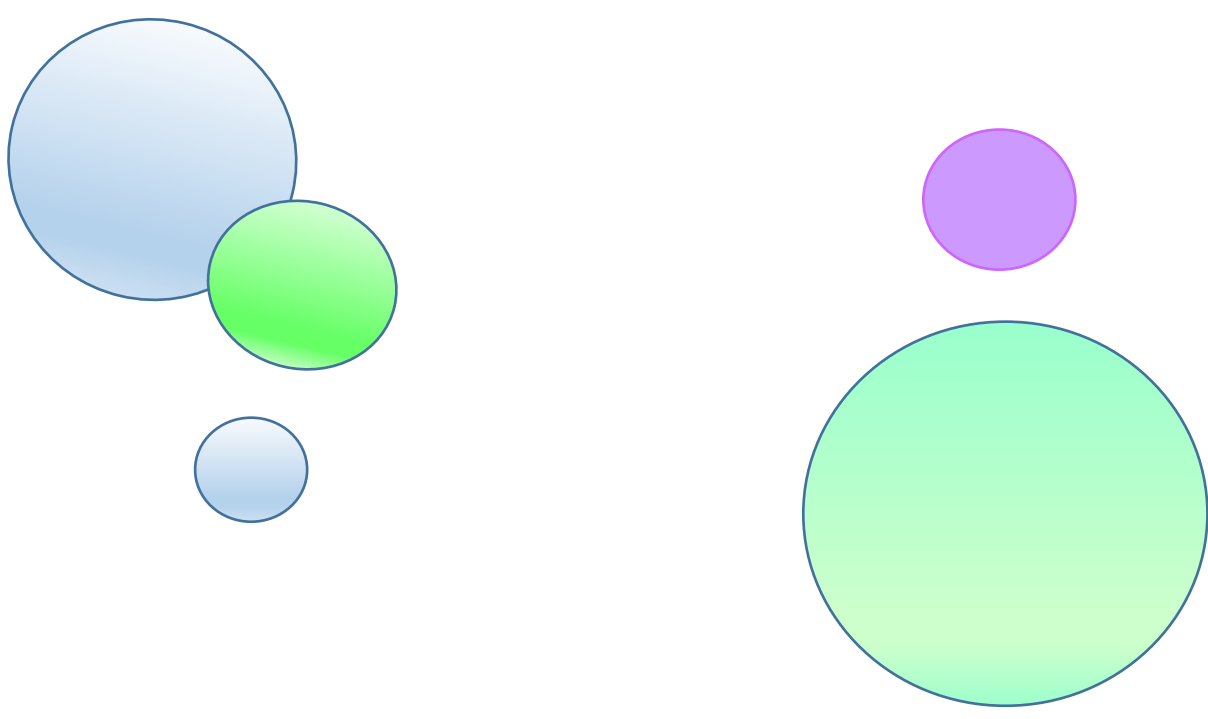
## 2 参考資料

(1) 新型コロナウイルス感染症の予防	
～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～	・・・11～19
(2) コラム	.....20～21





幼稚園向け  
保育指導案



## 幼稚園向け保育指導案（例）

### 新型コロナウイルス感染症の予防 ～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

#### 1 幼稚園教育要領

##### 【健康】

ねらい

(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

内容

(9) 自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。

内容の取扱い

(5) 基本的な生活習慣の形成に当たっては、家庭での生活経験に配慮し、幼児の自立心を育て、幼児が他の幼児と関わりながら主体的な活動を展開する中で、生活に必要な習慣を身に付け、次第に見通しをもって行動できるようにすること。

#### 2 題材名 新型コロナウイルス感染症の予防

～正しい知識と実践～

#### 3 題材設定の理由

現在、新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、感染症対策を正しく講じながら、集団で生活し、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、発達段階に応じた指導の充実を図る必要が生じている。

幼児期の発達段階では、自分の体を大切にしなければならないことに気付かせ、病気にかからないために必要な活動を自分からしようとする態度を育てることが必要である。しかし、幼児期は、必ずしも指導したことが直ちに実施できない場合もあるため、幼児が感染症の予防の必要性を理解できるよう工夫し、集団で指導する場を設けることや、個別に園生活の中で繰り返し伝えていくことが大切である。

そこで、新型コロナウイルス感染症についての正しい知識や、感染症予防対策について幼児が日常行っている行動から正しく知り、身に付け、自ら実践していくことを目指し、この題材の設定をした。

## 保育指導案（① 知識編）

予想される幼児の活動と教師の援助

- (1) 本時の活動  
保健集会「新型コロナウイルス感染症について知ろう」
- (2) 本時のねらい  
新型コロナウイルス感染症の感染経路や症状、予防方法について正しく知る。
- (3) 本時の活動

時間	予想される幼児の姿	教師の援助	環境構成
導入	○ 劇を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児が新型コロナウイルス感染症や予防に対する関心をもてるよう、分かりやすい演技で内容を伝える。</li> <li>・ 遊びや園生活等実際の場面を取り上げ、幼児が身近なこととして感じることができるようにする。</li> <li>・ 幼児が正しい知識や予防法を知り、自ら取り組んでみようとする気持ちがもてるように伝え方を工夫する。</li> <li>・ <u>感染症に対する不安感を与えないように配慮しながら進めていく。</u></li> </ul>	<p><b>【劇で伝える内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症のウイルスの大きさや形</li> <li>・ 感染経路</li> <li>・ 症状（熱、咳、だるさ など）</li> <li>・ 予防方法</li> </ul> <p>視覚教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウイルスの大きさ</li> <li>・ 感染経路</li> <li>・ 飛沫感染の距離</li> <li>・ 症状</li> <li>・ 予防方法 等</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症について話し合う。</li> <li>○ 自分ができる感染予防について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劇の内容を具体的に振り返りながら、幼児が知っていることや気付いたこと、考えたこと等を話せるように言葉を掛ける。</li> <li>・ 予防方法について、自分たちができることについて考え、自らやってみようという気持ちがもてるよう、話し合いながら確認する。</li> </ul>	
まとめ	○ 自分の体を大切にすることについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康で安全な生活を送るために一人一人が、自分の体を大切にし感染症に気を付けようとする気持ちがもてるよう言葉をかける。</li> </ul>	
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降園時や、たより、ホームページ等で保健集会の内容（新型コロナウイルス感染症）について家庭に情報を提供する。</li> </ul>		
評価の観点	<p><b>【幼児】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症について、正しい知識や予防法を理解することができていたか。</li> </ul> <p><b>【教師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症について、幼児に分かりやすく、発達段階に応じて理解できるような内容であったか。</li> <li>・ 幼児が自分の健康について興味関心をもてる内容の工夫ができていたか。</li> </ul>		

## 保育指導案（②手洗い・マスク編）

予想される幼児の活動と教師の援助

- (1) 本時の活動  
保健集会「正しい手の洗い方やマスクの付け方を知ろう」
- (2) 本時のねらい  
正しい手の洗い方やマスクの付け方について知り、自分でやってみようとする。
- (3) 本時の活動

時間	予想される幼児の姿	教師の援助	環境構成	
導 入	○ エプロンシアターを見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の身近な生活の中で、手にウイルスが付いている様子を視覚的に知らせる等、感染予防の必要性に気付けるようにする。</li> <li>・ 幼児が知っている感染予防法について尋ねながら、一緒に考える。</li> <li>・ 正しい手洗いの仕方について、実際に行いながらポイントを知らせる。</li> <li>・ 手洗いの仕方を、幼児に分かりやすい表現で伝えたり、歌に合わせて手順を知らせたりすることで、親しみをもち、楽しみながら手洗いの仕方が身に付くようにする。</li> <li>・ 正しいマスクの付け方について知らせる。</li> <li>・ 幼児が正しく着用できているか確認する。</li> <li>・ マスクの着用については、年齢や発達に個人差があるため、無理強いをしない。</li> <li>・ マスクを着用しないときのマナーについて知らせる。（個人差があるため）</li> <li>・ <b><u>感染症に対する不安感を与えないように配慮する。</u></b></li> <li>・ 手洗い、マスク着用の仕方について再確認をし、園生活の中や家庭でも意識できるようにする。</li> </ul>	エプロンシアター	
展 開	○ 正しい手洗いの仕方について聞く。  ○ 教師と一緒にやってみる。  ○ 正しいマスクの付け方について話を聞く。 ○ マスクを正しく付ける。			<p><b>【手洗いの仕方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手洗いの手順</li> <li>・ 手洗いのタイミング</li> <li>・ 30秒を目安に</li> <li>・ 洗い終わったら清潔なペーパータオル等でよく拭く</li> </ul> <p><b>【マスクの付け方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口・鼻を覆う</li> <li>・ ゴムひもを耳にかける</li> <li>・ 咳エチケット</li> <li>・ 熱中症予防</li> </ul>
まとめ	○ 手洗い、マスクの着用について振り返る。			
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降園時や、たより、ホームページ等で保健集会の内容（正しい手洗いの仕方、マスクの着用）について家庭に情報を提供する。</li> </ul>			
評価の観点	<p><b>【幼児】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しい手の洗い方やマスクの着用について幼児なりに理解することができていたか。</li> </ul> <p><b>【教師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手洗い、マスクの着用について、幼児に分かりやすく、理解できるように伝えることができたか。</li> <li>・ 幼児自身がやってみようと思えるように、内容を工夫することができていたか。</li> </ul>			



## 保育指導案（③遊び（ソーシャルディスタンス）編）

予想される幼児の活動と教師の援助

(1) 本時の活動

保健集会「生活や遊びの中でできる感染予防について知ろう ～『三つの密』の理解～」

(2) 本時のねらい

新型コロナウイルス感染症を予防するための「三つの密」を理解し、予防などに必要な活動を進んで行おうとする。

(3) 本時の活動

時間	予想される幼児の姿	教師の援助	環境構成
導 入	○ 「新型コロナウイルス感染症について知っていることを話したり、教師の話の聞いたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児が新型コロナウイルス感染症について知っていることを話す場面をつくり、要点と結びつけ示す。大きさ、感染経路、手洗いやマスクの感染予防等)</li> </ul>	○ 視覚教材 (パネルシアター・表示 等)
展 開	<p>○ 「三つの密」について知る。</p> <p>○ 新型コロナウイルスに感染したり、人にうつしてしまったりすることが分かる。</p> <p>○ 発声により飛沫が飛ぶことを知る。</p> <p>○ 教師の話の聞き、「三つの密」を避けるためには、どうしたらよいか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「三つの密」について幼児が生活する園生活や家庭生活等の具体的な場面を用いて知らせる。 【密閉】 ・ 換気の悪い密閉空間 【密集】 ・ 多くの人が集まる 【密接】 ・ 人との距離</li> <li>・ 「三つの密」が重なっている状況で、大きな声を出すと、どのようなことになるのかを知らせる。</li> <li>・ 「三つの密」について、幼児が考えたり、知っていることを話したりしながら、幼児が共通理解できるように補足しながら知らせる。</li> <li>・ 遊びや生活の具体的な場面を示し、「三つの密」を避けることが、新型コロナウイルス感染症の予防につながることを理解できるようにする。</li> <li>・ 「三つの密」を避けながら、友達と関わる方法について具体的に知らせる。 (人との距離・座り方・マスクの</li> </ul>	<p>○ 「三つの密」が分かる視覚教材化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 密閉</li> <li>・ 密集</li> <li>・ 密接</li> </ul> <p>○ 大きな声で話す際の飛沫を視覚教材化</p> <p>○ 「三つの密」が重ならない工夫や方法が分かる視覚教材化</p> <p>【密閉の回避】 換気・窓、入口を開ける</p> <p>【密集の回避】 身体的距離の確保 (できるだけ2m・最低1m)</p> <p>【密接の場面への対応】 マスクを着用、声の大きさを考え</p>

<p>まとめ</p>	<p>○ 健康で安全な生活を過ごすために必要な行動について再確認する。</p>	<p>正しい着用・声の大きさ 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊んだ後の手洗いや消毒、「三つの密」を理解し、幼児自身が進んで行動する気持ちをもてるようにする。</li> <li>・ <u>感染症に対する不安感を与えないように配慮する。</u></li> <li>・ 「三つの密」について振り返りながら、自分の体を大切にしなければならぬことに気付かせたり、健康・安全に生活するために必要な行動を自分からしようとする習慣や態度を身に付けたりできるように言葉掛けを行う。</li> </ul>	<p>る、会話を慎しむ (電車・バス・エレベーター等)</p> <p>○ 園生活の中で、できる予防が分かる視覚教材化</p> <p>○ 遊びや生活の中で、予防する行動を視覚教材化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と遊ぶ時に気を付けること</li> <li>・ 遊びや生活の場面で気を付けること 等</li> </ul>
<p>保護者との連携</p>	<p>・ 降園時や、たより、ホームページ等で保健集会の内容（「三つの密」の理解）について家庭に情報を提供する。</p>		
<p>評価の観点</p>	<p><b>【幼児】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症について、予防に必要な「三つの密」を理解することができていたか。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症を予防するための「三つの密」を避ける活動を、進んで行おうとしていたか。</li> </ul> <p><b>【教師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児が「三つの密」について理解できるよう、分かりやすい教材や環境の工夫ができていたか。</li> <li>・ 幼児が感染予防のために、自分で進んで行おうとする言葉掛けや環境構成ができていたか。</li> </ul>		

【幼稚園】

広島市立幼稚園

坂本 玲子（船越幼稚園 園長）

長原 聖子（基町幼稚園）

森田 紗季（瀬野幼稚園）

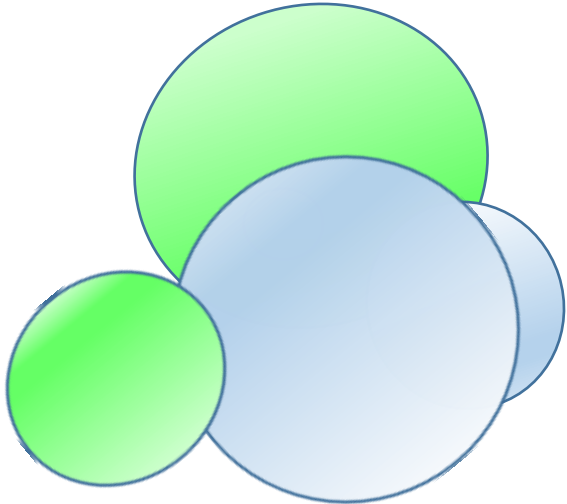
松本 美里（船越幼稚園 表紙イラスト）

作成担当 岩井 美江（指導第一課）

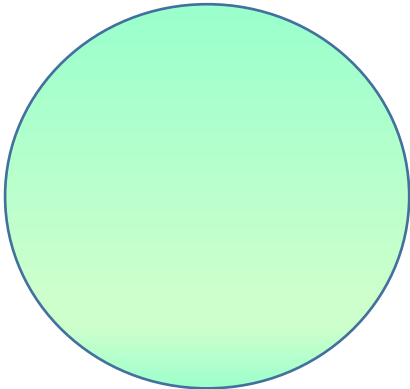
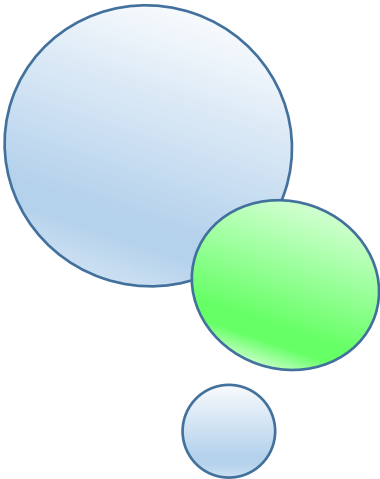
敬称略

勤務校は令和3年5月現在

---



# 參考資料



## 接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として  
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

人は、“無意識に”顔を触っています！



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、  
約**44パーセント**を占めています！

# 手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！

※手洗いの効果（イメージ図）



## 手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食（昼食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき



# ！感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

## ①手洗い 正しい手の洗い方

石けんを十分に泡立てておぼろしうで、指先や手関節は丹念に洗っていただきます。

- 1 両手でよく手を擦らした後、石けんをつけて、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのばすようにこすります。
- 3 指先・手の親指を念入りにつまみます。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらを逆方向に洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく水分を取って乾かします。

## ②咳エチケット 3つの咳エチケット

咳やくしゃみ、せきなど人が集まるところでやろう

- × 何もせずに咳やくしゃみをする
- × 袖やくしゃみを手で拭く
- マスクを着用する（口鼻を覆う）
- ティッシュペーパーなどで口鼻を覆う
- 手で口鼻を覆う

### 正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 コムひもを両にかける
- 3 隙間がないよう密着させる

東京都 厚生労働局 東京都健康・安全・福祉推進課





新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

# 「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と  
十分な距離を取る!

2メートル

窓やドアを開け  
こまめに換気を!

屋外でも密集するような  
運動は避けましょう!  
少人数の散歩や  
ジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう!  
・多人数での会食は避ける  
・隣と一つ飛ばしに座る  
・互い違いに座る

会話をするときは  
マスクをつけましょう!

5分間の会話は  
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは  
会話を慎みましょう!



幼児及び 小学校 低・学年の児童向け教材（例）

Aくんは、あさ、どうこうするまえに、いつものようにねつをはかりました。ねつはありません。いつものように、がっこうにげんきにどうこうし、くらすでBくんとはなしているとき、なんだか、はながむずむず、のどがかゆくなってきて、「ゴホン」とせきをしました。そのとき、Bくんはおどろいたかおをして、Aくんからはなれ、「うわ！コロナ！」といいました。Aくんはそのひ、かなしいきもちですごしました。

（発問例）

- Aくんはなぜかなしいきもちになったのでしょうか。
- みんながかなしいきもちにならないために、どんなことがたいせつですか。
- あなたがBくんだったらどんな声をかけてあげますか。

小学校 中・高学年の児童向け教材（例）

Aさんは、数日前から体調が悪く、学校を休んでいます。  
「一応、検査を受けておこうか。」  
PCR検査を受け、結果が出るまでは、学校を休んでいました。

数日後、結果は陰性<sup>いんせい</sup>で、新型コロナウイルス感染症ではありませんでした。

すっかり体調もよくなり、久々に登校する日の朝、お母さんが「大丈夫よ。安心して行っておいで。」と声をかけてくれました。不安だった気持ちが少しやわらぎました。

登校したとき、クラスみんなが「おはよう！」と声をかけてくれて、安心しました。  
大休憩、仲の良いBさんが近くに来て、  
「ねえねえ、Aさんってコロナだったんでしょ。大変だったね。」と話しかけられました。  
「ちがうよ…。」Aさんは元気がなくなりました。

（発問例）

- Aさんは登校前、なぜ不安だったのでしょうか。
- Aさんはなぜ元気がなくなったのでしょうか
- BさんはAさんにどんな言葉かけをすればよかったですでしょうか
- もし、休んでいた友達が登校してきたら、どのように行動しますか。クラスで話し合ひましょう。

私は、数日前から体調が悪く、学校を休み、一昨日 PCR 検査を受けた。「もし陽性だったらどうしよう。」検査の結果が出るまで、不安でたまらなく、なかなか眠れなかった。

「陽性でした。」

その結果に、不安でおしつぶされそうになりました。

「大丈夫よ。家族みんながついているから安心して。」

そんな家族の言葉とともに、家庭内感染を防ぐために自分の部屋に隔離された、私の療養生活が始まりました。

家族に支えられながら、療養している間、頭の中にさまざまな思いがめぐっていました。

症状がなくなっても、外出せず、療養生活が終わる日、

「よくがんばったね。これで安心だよ。」

家族の言葉に涙が出そうでした。

久しぶりに登校する日、不安で胸がおしつぶされそうになりながら、学校に向かいました。

学校に着くと、下駄箱で仲の良い B さんから声をかけられました。

「A さん、大変だったね。大丈夫、大丈夫だからね！！」

その一言に私は救われた気がしました。

A さんはすっかり元気になりました。

- A さんの頭の中をめぐっていたさまざまな思いとはどんなものだったでしょう。
- A さんはなぜすっかり元気になれたのでしょうか。

公益財団法人 日本学校保健会のホームページから「新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト～」のページにアクセスし、「学校関係者情報登録フォーム」より申し込めば、教材及び資料のダウンロードができます。ご活用ください。

